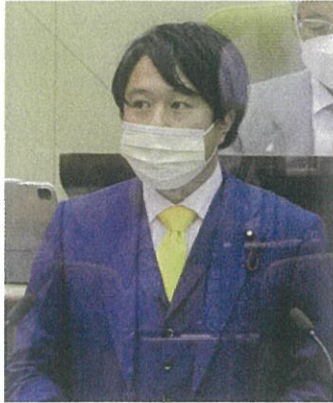


仙台市議会 市政活動報告 市民フォーラム仙台

令和4年 議会報告 秋号

仙台市議会議員(青葉区) **郷古正太郎**

発行：市民フォーラム仙台 編集：郷古正太郎 〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1



今回の議会では上程議案の会派代表質疑を行う予定でしたが、原稿を書き終えた時点で新型コロナ濃厚接触者となり、議会の取り決めにより欠席をし、その後罹患が発覚したため、原稿を先輩議員に託しました。付託を受けている身にも関わらず1週間も議会を休んでしまい、市民の皆様には深くお詫び申し上げます。

回復後は決算審査で子育て政策と障がい者施策について、その後追加上程されたG7科学技術大臣会合の予算及び非課税世帯臨時特別給付金の予算の代表質疑を行いましたので、質問の抜粋をご報告させていただきます。

引き続き市民生活向上のために議論を尽くしてまいります。

プロフィール 郷古(ごうこ)正太郎 高校卒業後中小企業勤務を経て東北学院大学入学 営業企画職を経て衆参議員の秘書11年経験し19年市議会議員初当選 市民フォーラム仙台 総務財政委員会 宮城大学大学院にて教育社会学分野の研究中

第3回定例会の質問要旨

本会議(代表質疑)

1. 本市の市債残高について

市債残高は決算年度で44億円減少したが、まだ4700億円の市債が残っている上にグリーンボンド等、新たな短期債の発行も始まった。市債の管理と教育施設などの適切な時期の更新が必要であり、優先順位をしっかりとつけていかななくてはいけないと考えるが所見を伺う。

答弁 市長

公共投資の厳選重点化の取り組みにより前年度と比較して縮減した。今後、公共施設の長寿命化や更新に係る経費の増加や、本庁舎の建替えなどの大規模事業も本格化してくるが、引き続き事業の厳選重点化や事業費の更なる平準化を図りながら、将来世代には過大な負担を残すことのないように、市債の適切な管理に努め、財政規律を堅持してまいります。

2. 4病院再編問題について

4病院再編問題は県の主張では2病院が市外に移転した場合、本市の救急体制の負担が減ると計算がされているが、3次救急や特化型の救急を考慮すると本市の負担が逆に年間2,500件程度増えるという見方も出来るため大変危惧をしている。本市救急体制への影響をどの様に見ているのか。また、この到底容認できない県の案に対し、本市としても税制も含めたあらゆる手立てを行うべきと考えるが所見を伺う。

答弁 市長

仮に2病院が市外へ移転となった場合、本市内から新病院への搬送は、かなり限定的になると見込まれ、市内の受入能力の縮小の影響の方が大きく、将来の救急需要への対応も懸念される県に対して、医療機関の救急受入など、本市の救急医療体制にどのような影響を与えるか、詳細な検証を行い、明らかにするよう求めてまいります。対象となっている両病院の院長とお会いをして、病院の現状、また、将来に向けて、病院運営や経営面に関し課題と認識されている点というのをお聞きしたが、特定の病院に対し、本市として特別な取り扱いをすることは、公平性の観点からも難しい。県に対し、特に重要と考えられる諸課題を改めて整理した上で、早急に提示をし、説明を強く求めるとともに、引き続き状況を確認しつつ、必要な対応を取ってまいります。

決算審査等特別委員会

1. 心身障害者医療費助成制度について

本市の心身障害者医療費助成は一度窓口で支払い、そのあと申請をして払い込まれる償還払いのため、受診を控えてしまう場合があるという話を聞く。受診控えが起きぬよう子ども医療費助成制度のように、窓口での支払いが殆ど起こらない現物給付を目指すべきと考えるが、所見を伺う。

答弁 健康福祉局長

心身障害者医療費助成は、実際に診療を受ける方の負担軽減から現物給付が望ましいと思っている一方で、この制度は県の補助事業であるため県全体として統一的な対応が望ましいと考えている。県内の市町村、特に県内の市とは連携を取りながら、宮城県市長会という場を使い県の方に実現に向けて求めてまいりたい。

2. 保育園の安全対策について

保育園のICT助成事業の安全対策費では対象は認可保育園に限られているが、子どもの安心と安全の確保をする予算は認可保育園と認可外保育園で差をつけるべきではないと考える。この安全対策事業の対象を認可外保育施設も含めるべきと考えるが所見を伺う。

答弁 運営支援課長

補助の対象となる機器については、午睡や睡眠中の事故防止に有効であることから、今後、認可外保育施設への拡大を検討する。

など 障がい者・子育て施策関連で4項目を質問 → 動画はこちら



本会議(代表質疑)

1. 地元企業への優先発注について

非課税世帯の5万円給付は、物価高騰の現状を鑑みると迅速な予算執行を求めるが、この事務費4億5千万円について、積算根拠の情報が足りず判断材料に足りないと考えている。5カ月間の運営で、コールセンターの運営3億円、システム改修と保守で6,800万円、これが精査されているのかも不明であり、地元企業から見積もりを取るなどして判断材料としたい。またこのような事業は以前から要望しているが地元企業に発注すべきかと考えるがいかがか。

答弁 健康福祉局長

この事務委託費の積算にあたりましては、我々としても根拠のあるものとして考えてはいるところだが、執行段階で確認をしながら進めてまいりたい。併せて地元発注は、今回の業務の迅速性という観点から、臨時給付金を受託している業者と契約をする方向で準備を進めているが、地元の企業への発注ということについても事業者の方に協力要請をしている。今後こういった事業が続くとなった場合、どうかたちで分割発注ができるものかということについて研究してまいりたい。

など14項目を質問 → 詳しくはこちら



あなたの声から
勉強させてください!!!

≡ 仙台市議会議員
ごうこ正太郎

市政広聴シート

お名前

ご住所

TEL - -

お困りごと

FAX.022-303-8832

いただいた情報をもとに調査し、
地域の問題解決に生かしてまいります。